

総選挙の結果について

2月8日に投票された総選挙で、日本共産党は比例代表選挙北陸信越ブロック池田町選挙区で藤野やすふみさん(元)の議席獲得、10%得票を目標に戦いました。選挙の結果は457票、得票率9.0%で自民、中道に次いで3位でした。比例ブロックでは14万311票、4.3%で議席獲得はなりませんでしたが。全国では改選8議席から4議席という重大な後退となりました。ご支持いただいたFCニュース読者、後援会員、有権者の皆さんに心から感謝申し上げます。

今回の選挙、高市旋風と言われる高市早苗首相への強烈な支持の流れがありました。世論の動きをみながら、奇襲解散、超短期決戦、論戦回避などクレーターの選挙に持ち込みました。



高市フィーバーは首都圏では万単位の人々が集まり、地方でも数千人が押し寄せていました。この旋風の中身は何か。新聞、テレビが、投票日翌日の報道で「高市さんなら何か変えてくれるかもしれない」という期待の拡大を共通して指摘しました。高市首相を支持した人の声は：「発信力がある。その言葉に期待している」「実行力がある。日本を変えてくれるような期待感」はつきりしていい好感が持てる」など「漠然とした期待」が旋風のように広がっていました。

この背景になにがあったのか？30年にわたって経済成長が止まり、賃金が上がらず、少子化が続き、そこを襲った物価高に手を打てない自民党政治への失望と不安怒りです。高

市首相は「責任ある積極財政」や消費税減税というスローガンを語りかけて失望と怒りを期待に変えた」と自民党閣僚経験者は指摘しました。

共産党は自民党などの憲法9条改悪や「戦争国家づくり」を進める勢力に対し暮らしと経済、安保・外交、人権などで国民の要求にこたえ「アメリカいいなり」「財界中心」の政治を正す論戦を展開してたたかいました。高市政権は議席こそ増えたが国民との関係では深刻な弱さともろさを抱えています。国会の外でも世論と運動を広げ、希望の持てる新しい政治を切り開くよう頑張ります。

日本共産党池田ファンクラブ

定期総会

月日 3月8日(日)
 時間 午後1時半より
 場所 林中多目的研修センター

総会終了後、学習講演会があります。
 マイナ保険証はどうなるか？
 現在の医療の実態等お話しします

講師 松本協立病院専務 日高大地さん

コラム 有明

「わったー、ウチナーのシーサー」、久しぶりにこの言葉を聞いた。シーサーは沖縄の守り神、沖縄の人なら少なからず心の中にある言葉だ

▼今回の総選挙で、長年沖縄の新基地建設に反対してオール沖縄で頑張ってきた 沖縄の守り神でもある議員が、落選した。大きな損失だ。▼初めて女性が総理になり多くの女性や若者たちに期待を持たせ、人気が高い間を利用しての選挙戦。日本列島全体で高市旋風は吹き荒れた▼高市政権は数の力を利用して早速悪巧みを計画している。憲法改正もそのひとつ。だが自民の得票率は半分にも及んでいないのだ▼「そう簡単にはさせない」「闘いはこれからだ」という全国の声を更に大きくし草の根の運動を強めねばと思ひ直した。政権の矛盾はすでに広がっている▼乳飲み子の脳裏にインプットされていたのか、空を覆い尽くしてB29が攻めてくる夢をよく見る。戦争だけは二度と起こしてはならない。一日も早く自維政権のバケの皮をはがし、平和な世を作りたい。